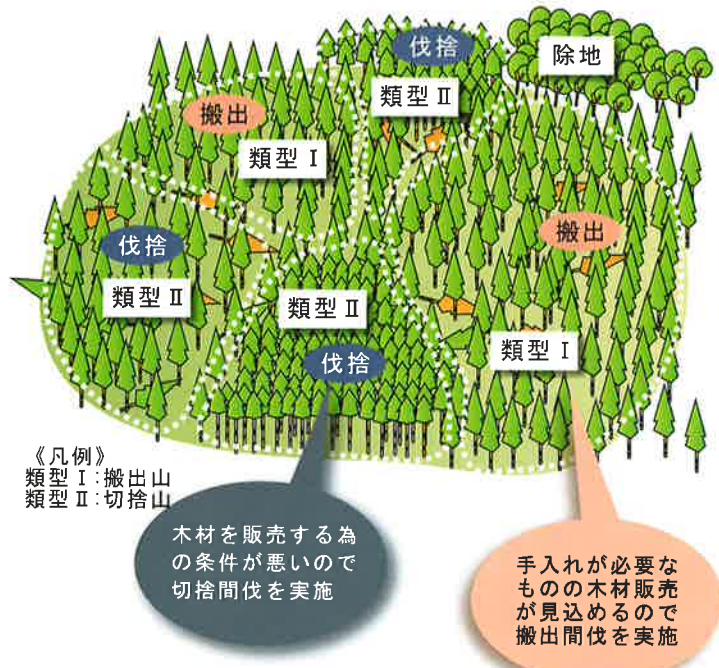


# 「切捨山」と「搬出山」

【図1】「切捨山」と「搬出山」



私達が森林整備の対象地として取り組んでおります久万高原町内の山林の中には、大きく分けて

①育林段階で手入れ不足のために樹木の生長十分でなく、曲りが多かったり、十分な太さにまで成長していない林分で、(現時点において)木材生産に適さない山Ⅱ「切捨山」

②手入れ段階にあるものの、樹木がある程度太くまで成長し、木材販売が可能な山Ⅰ「搬出山」

の2つに類型分けできます(図1)。

しかし、これらの区分は、林況や材価等の要因により線引きが難しいことが多々あります。

## 久万林業活性化センターの新たな取組

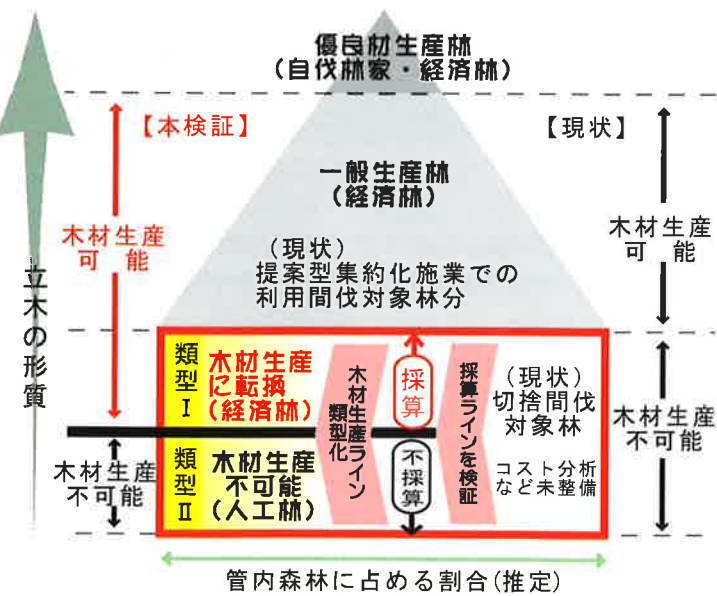
《農林中金80周年森林再生基金，採択》  
 利用間伐への転換のための木材生産検証事業

### 農林中央金庫公募事業採択！

そこで、林況に応じた適切な施策を実施するための基準づくりを目的とした事業を立案し、農林中央金庫が毎年公募している「公益信託 農林中金80周年森林再生基金」事業に応募したところ、本年度事業に見事採択されました。

本事業では、面河地区の山林を対象にして、利用間伐が困難な林分から木材生産を行った場合の工程及び収支を算出します。林況ごとに作業状況や事業費等を基にコスト分析し、事業の採算性を検証します。この結果を基に類型化し、利用間伐と切捨間伐の分岐点を導くことを目的としております(図2)。

また、この指標を基に今後の久万の山づくりに大きく貢献して行きたいと考えております。



※図に該当しない林分は、広葉樹や施業による立木の形質改善が見込めない箇所

【図2】管内森林の林況分布概念図